

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,313	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素排 換排 出量 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,313

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			%		%		%		%
温室効果ガス みなし総排出量			t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排 出 量	0.1851	/ m ²	0.184	/ m ²	0.1753	/ m ²	0.1774	/ m ²	0.186	/ m ²
削減率（対 基準年度）		0.6	%	5.3	%	4.2	%	▲ 0.5	%
原単位あたりの みなし排出量			/ m ²		/ m ²		/ m ²
削減率（対 基準年度）			%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

今年度は空区画であった区画にテナントが多数入居し、電気空調負荷が増えたこと。及びコロナ感染症予防のため外気導入による夏季の空調負荷が増えたことが原因と考えられる。なお、3年間の平均削減率としては、目標を達成できている。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理/エネルギー 使用量等の把握 及び管理	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ推進委員会を設置し、取組項目を設定 ・エネルギー使用量の把握・測定・計測・記録・分析 		実施している。
省エネルギー・ 省資源の推進・ 照明	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の運転時間、温度、外気導入量を管理 ・中間期等は積極的な外気の導入により、空調機又は熱源機の運転時間を削減（外気冷房） 		概ね実施しているが、コロナ感染症予防のため、夏季においても外気を導入していた。
省エネルギー・ 省資源の推進・ 冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水ポンプは負荷変動に対応してインバーター等で変流量化 		実施している。
省エネルギー・ 省資源の推進/ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・冷水デマンド監視装置により、最大使用量を監視抑制 ・機械室の消灯を行う。 		概ね実施している。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所等で紙のリサイクルのための紙蘇箱利用を徹底している。 ・ テナントに対しゴミの減量を指導している。 ・ 店舗補助冷房機器の循環水利用を促進している。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--